

帯広市の男女共同参画社会の実現を目指して 新プランの 主な見直し点

目標
1

人権の尊重と男女共同参画の実現に向けた 意識の改革

1. 男女平等の視点に立った教育の推進
2. 男女共同参画の啓発
3. 女性の人権を尊重する認識の浸透
4. 女性に対するあらゆる暴力の根絶
 - ・セクシャル・ハラスメントの防止
 - ・被害者への相談・支援体制の充実

セクハラ防止やDV被害者に対する相談・支援体制を充実するため、項目を加えました。

意識啓発だけではなく、人権を尊重する(特に女性)取り組みを含むため、人権の尊重を加えた表現としました。

目標
2

さまざまな分野への 男女共同参画の推進

1. 政策・方針決定過程への女性の参画推進
2. 地域社会への男女共同参画の推進
 - ・防災分野における男女共同参画の推進
 - ・まちづくりにおける男女共同参画の推進

それぞれ、個別の分野で女性の参画を促進することを目指すため、「あらゆる分野」から「さまざまな分野」へ表現を変更しました。

防災や環境、まちづくりなどの分野は新しい分野への取り組みとして、国が第2次基本計画で重点項目としているため帯広市でも今後、10年を見据え取り組みに加えました。

基本目標 男女共同参画プラン 推進のための 4本の柱

目標
3

男女がともに働きやすい 環境づくり

1. 男女がともに働くための環境整備
 - ・ワーク・ライフ・バランスの普及
2. 就労における男女平等の推進
3. 就業機会の促進
 - ・女性の再チャレンジ支援

結婚や出産等で仕事を離れた女性の再就職支援も就業機会の拡大に向けた取り組みです。

現プランに固執することなく新たな視点で検討し、5本から4本にまとめました。

少子高齢化社会を迎え、女性の人材活用は重要であり、そのためにはワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の普及が必要であることから、取り組む項目に加えました。

健康推進の取り組みと生涯学習の推進をひとつにまとめました。

目標
4

多様な生き方を実現する 環境づくり

1. 母子保健の充実
2. 健康づくりの推進
3. 安心できる介護環境の整備
 - ・介護の支援体制の充実
 - ・高齢者や障害者に対する社会参画・自立支援
4. 生涯学習の推進

女性をはじめ、高齢者や障害者等すべての人がいきいきと暮らすため健康支援は欠かすことができないため、より具体的に取り組みを表現しました。